

拝啓 貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

共和ゴムの寺阪です。

先日久々に福井県に仕事で行き福井県だけで3日間も居たのは初めてでした。ちょうどお客様のすぐ近くに丸岡城があったので、せっかくなので弊社営業・道上と一緒に立ち寄りました。

柴田勝家の甥っ子である柴田勝豊が1576年に築城しました。築城時に天守閣の石垣がうまく積み上がりず崩れてしまうため、幼い子供を持つお静という女性が人柱となる

ことでうまく築城できました。お静は人柱となる条件として自分の息子を武士として取り立ててもらうことを条件とし柴田勝豊も承諾してたのですが、その約束は守られず、それに怒ったお静の怨霊が出るということでも有名な丸岡城です。柴田勝豊は僕は嫌いな武将です。そこそこ強かったのだとは認めますが、知略・知力に欠けた猪武者だと思います。柴田勝家と豊臣秀吉が争った賤ヶ岳の戦いでも、豊臣秀吉の策略にまんまと引っ掛かり大敗の原因を作った張本人です。柴田勝家も豊臣秀吉の策略は見抜いており迂闊に行軍すべきではないと厳命していたにも関わらず、秀吉が別方面へ行軍したことを機と捉えて侵攻し、秀吉の迅速な大返しをくらい大敗してしまい、戦局が大きく秀吉に傾いてしまい立て直せずそのまま柴田軍は大敗を喫しました。確かに豊臣秀吉の策略も巧妙でしたが、動かなければ勝てたと言われる戦いだったので、柴田軍はわざわざ動く必要がなかった。本当に柴田勝豊の判断は謎すぎます…こんな柴田勝豊が築城した丸岡城は日本に12しかない現存天守閣として有名です。以前は国宝でしたが1948年の大地震で倒壊し、倒壊材を8割使って再建しましたが、2割は新材を使ってしまったため再建された天守閣は国宝に指定されず、現在は重要文化財になっております。丸岡城の特徴としては、重たい石瓦を約6,000枚も天守閣の屋根に葺いている、独立式望楼型（外観は2階建てだが実際は3階建て）、天守閣には通し柱がない、天守閣が立つ高台の石垣は野面積み、この4つが大きな特徴です。個人的には、自然な石を殆ど加工せずそのまま積み上げる野面積みが一番好きです。また反り返りはありませんが高さが6メートルもあり壯觀です。小さいお城ですが、約450年前の天守閣が拝めるということで感動しました。なんか歴史ツアーような話しばかりになりましたが、福井出張では道上と二人でしっかりと仕事をやってましたのでご安心ください。福井出張の詳細は道上のレポートでご覧いただければ幸いです。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

敬具



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA RUBBER NEWS LETTER

共和ゴムニュースレター 第119号
2025年11月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページをご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

Tel. 072-855-1039(代表) / Fax. 072-855-1090(代表)

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3

東京営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439

島根よしか工場

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市459番地1

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



NEWS

共和ゴムFC活動報告

vol.23

10/26(日) vs FC REGENT

尼崎スポーツの森



相手はリーグ戦現在4位のチームで、3位の共和ゴムFCとは勝ち点1しか差がありませんでした。

追われている状況での上位の座を掛けた重要な試合でしたが、体調不良などで前日、当日に欠席者が増え、主力選手も多く欠けるなかたった9人しか居ないという危機的状況でした。

散々悩んだ挙句に、フォーメーションも大幅に変更して3-3-0という布陣で挑むことにしました。

FWを置かないトップというフォーメーションは練習試合でも公式戦でもやったことがありませんでしたが、今日のメンバー達のポテンシャルを活かせるのはこの布陣だと決断しました。

事前に各ポジションごとに選手達とは入念な打ち合わせを行い、また攻撃時と守備時でのチームとしての取り決めなどを全体で話し合いました。

3バックの右は当社営業マンでイケメン風・元Jリーガーの道上君を配置。道上君は怪我あがりなので攻撃は自重させ自陣後方からショートパスとロングパスで試合を組み立てさせました。

また安定した守備でも貢献してくれ怪我も再発しなくて良かったです。

相手チームに敢えてボールを支配させ、堅牢な3バックと狭くした中盤での3枚を動かすことで相手のボールを奪い切りカウンター攻撃を仕掛けることができ見事3-1で勝利しました。

これで3位キープのまま来月の最終戦へ臨みます。2位浮上を目指して最後の最後まで諦めずに戦い抜きます。



Sales Department

本社・営業部
道上 隼人

お世話になっております。

本社営業部の道上です。

10/22(水)～10/24(金)に福井出張に行っておりました。

大阪からも比較的近いということで宿泊して福井県に行くことが無かったので非常に新鮮で有意義な出張になりました。

初日はお福井県内のお客様を訪問しました。電話やメールではやり取りはしていましたが実際にお会いするのが初めてのご担当者の方々にご挨拶することが出来ました。

直接対面でお話することは改めて良い機会だなと実感しました。

特定の製品のみのやり取りだったので共和ゴムの様々な製品を紹介させて頂くと「こんな製品も取り扱っているのですね!」「色々な材料・製品を取り扱っているのですね!」など今後に繋がるようなお話を沢山できました。あるお客様は物凄く前のめりで「他は?他は?」とこちらが困ってしまうぐらい興味を持って頂きました。

なかなか足を運ぶ機会はないですが定期的にこのような時間を作れればなと思いました。

最後に訪問したお客様の会社から車で5分程の所に丸岡城があつたので寺阪社長と立ち寄りました。二人とも初めて行くような雰囲気で向かっていましたがいざ丸岡城に到着すると「なんか来たことがあるような……しかも一緒に来たような気が……」となり二人で記憶を思い返しましたがなかなか思い出せず、結局翌日の車中で突然思い出すことができモヤモヤがすっきりしました。贅沢な寺阪社長の歴史ツアー並みの解説を聞き



ながら「人柱伝説」を聞いて憤慨しておりました。丸岡城の人柱とは、お城が無事に完成する事を願って、生きた人間を生き埋めにするという物凄く恐ろしい儀式です。しかも築城した柴田勝豊はとんでもない人でなします。人柱に名乗り出た女性の息子を武士に取り立てるという約束だったのに結局、女性の息子は武士には取り立ててもらえませんでした。柴田勝豊は人でなします。

それはさておき、2日目・3日目は「プレストレスコンクリートの発展に関するシンポジウム」に参加させて頂きました。お客様の日本高圧コンクリート様との共同開発中の横締め定着具の防錆装置を展示しました。プレストレスコンクリートの橋を建設する際に必要となる装置で建設中にすぐに錆びてしまうのでこの装置で錆を防ぐというものです。また従来の工法では防錆塗料を塗るという大変手間な作業をしており、作業者によって塗りムラが発生するので管理が非常に難しいとのことです。共同開発中のこの製品を使うと防錆塗料の塗りムラの防止、時短、人手不足解消にも繋がる画期的な製品となります。実際、ブースにお越し頂いたお客様の反応も良くて初お披露目は上々な滑り出しとなりました。どんどんPRして拡販していく様に頑張ります。

横締め定着具
防錆装置

皆様、引き続きよろしくお願い致します。